

# 水質類型別環境基準

	類 型	環 境 基 準 値	摘 要 (水質環境の適応性)
河 川	AA	BOD 1 ㎍以下	自然環境保全のための水質環境
	A	2 ㎍以下	ヤマメ、イワナ等の生育に望ましい水質環境
	B	3 ㎍以下	アユ等の生育に望ましい水質環境
	C	5 ㎍以下	コイ、フナ等の生育に望ましい水質環境
	D	8 ㎍以下	日常生活において不快感を生じない限度の水質環境
	E	10 ㎍以下	同 上
湖 沼	AA	COD 1 ㎍以下	自然環境保全のための水質環境
	A	3 ㎍以下	アユ等の生育に望ましい水質環境
	B	5 ㎍以下	コイ、フナ等の生育に望ましい水質環境
	C	8 ㎍以下	日常生活において不快感を生じない限度の水質環境
海 域	A	COD 2 ㎍以下	自然環境保全のための水質環境
	B	3 ㎍以下	ノリ等の生育に望ましい水質環境
	C	8 ㎍以下	日常生活において不快感を生じない限度の水質環境

## 第2節 現況と将来予測

### 1. 現 況

#### (1) 水 質

本県においては、公共用水域の水質の保全を図るため、河川については55水域、湖沼については8水域、海域については35水域にそれぞれ環境基準点を設け、水質測定計画に基づき、水質測定を行っている。

各水域における水質の状況を、昭和51年度から昭和53年度までの3か年間の各環境基準点における測定値の75%値の平均値でみると、河川では花山ダム、釜房ダムの各流入河川、都市貫流河川など13水域で環境基準を超えているが、他の水域はいずれも環境基準を満足している。

湖沼では、花山ダム、伊豆沼など8湖沼のいずれも環境基準を超えており、海域では、気仙沼湾の一部水域で環境基準を超えているが、他の水域はいずれも環境基準を満足している。